

令和2年度『マナスタ』チェックリスト第3回調査結果の分析

令和3年1月27日

「学びのUD」構築事業校内チーム

I 『マナスタ～生徒編～』チェックリスト第3回の分析

(1) 1年生

- ① 19項目中9項目 (No.3, No.7～No.11, No.13～No.15) で、第2回よりも0.3ポイント以上上昇した。
- ② No.12, No.17, No.19は、第2回よりもポイントが下降した。
- ③ No.9, No.18以外は、全生徒平均を下回った。

(2) 2年生

- ① No.6, No.12で、第2回よりも0.3ポイント以上上昇した。
- ② 他の項目は、第2回と比べ0.3ポイント以内の増減だった。
- ③ 全項目で、全生徒平均と比べ0.3ポイント以内となっているが、No.9, No.15は全学年の中で最も低い値となった。

(3) 3年生

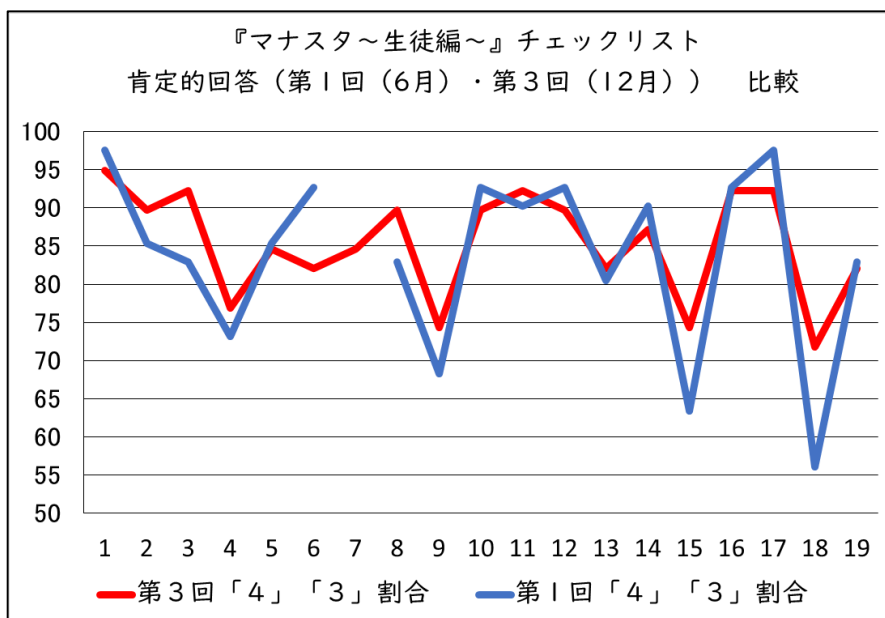
- ① No.12で、第2回よりも0.3ポイント以上下降した。
- ② 他の項目は、第2回と比べ0.3ポイント以内の増減だったが、19項目中15項目 (No.1～No.6, No.8～No.9, No.12～No.14, No.16～No.19) は下降だった。
- ③ No.12, No.18以外は、全生徒平均を上回っている。特に、No.18は全学年の中で最も低い値となった。

(4) 全生徒

- ① 第2回よりも0.3ポイント以上下降している項目はなかった。
- ② 第2回よりも0.3ポイント以上上昇している項目もなかった。
- ③ 重点事項だったNo.4「振り返り」は、第3回も3.00ポイントを下回った。「4」の数も減少した。
- ④ 重点事項だったNo.9「わからないことを尋ねる」は、回を重ねるごとにポイントが上昇しており、第3回では3.00ポイントになった。しかし、「1」と「2」の数は、依然として多く、全体の約25%を占めている。
- ⑤ 重点事項だったNo.15「積極的な発表」は、「4」の数がほぼ倍増し、3.00ポイントになったが、これも「1」と「2」の数は、依然として多く、全体の約25%を占めている。
- ⑥ No.18「発表後の拍手」は、「1」と「2」の数が最も多い。

(5) 第1回(6月)と第3回(12月)における, 肯定的な回答をした生徒の割合

- ① 各項目について, 「4 あてはまる」「3 ややあてはまる」と肯定的な回答をした生徒の割合の平均は, 第1回 83.7%, 第3回 85.4%となり, 1.7ポイント上昇した。また, 「4 あてはまる」と回答をした生徒の割合の平均は, 第1回 45.3%, 第3回 50.2%となり, 4.9ポイント上昇した。
- ② 5ポイント以上上昇した項目は, 5項目。No.3「流れと時間配分」は9.4ポイント, No.8「自力解決の工夫」は6.8ポイント, No.9「わからないことを尋ねる」は6.1ポイント, No.15「積極的な発表」は10.9ポイント, No.18「発表後の拍手」は15.7ポイント, それぞれ上昇した。
- ③ 5ポイント以上下降した項目は, 2項目。No.6「ノート, ファイル・プリントの整理」は10.6ポイント, No.17「人の発表を尊重」は5.3ポイント, それぞれ下降した。



(6) 今後の重点事項

- No.4「振り返り」, No.9「わからないことを尋ねる」, No.15「積極的な発表」に加え, No.6「ノート, ファイル・プリントの整理」, No.18「発表後の拍手」。

2 『マナスタ～教師編～』チェックリスト第3回の分析

(1) 授業づくり

- ① No.5, No.8で, 第2回よりも0.3ポイント以上上昇した。
- ② No.3は, 第2回に引き続き3.00ポイントを下回った。
- ③ No.1の「4」の数が増加し, 9割となった。
- ④ No.5の「4」の数は, 第2回に引き続き0であったが, 「3」の数が増加した。
- ⑤ No.7の「4」の数が増加し, 半数となった。
- ⑥ No.8の「1」の数が増加し, 「4」「2」の数が増加した。

(2) 環境づくり

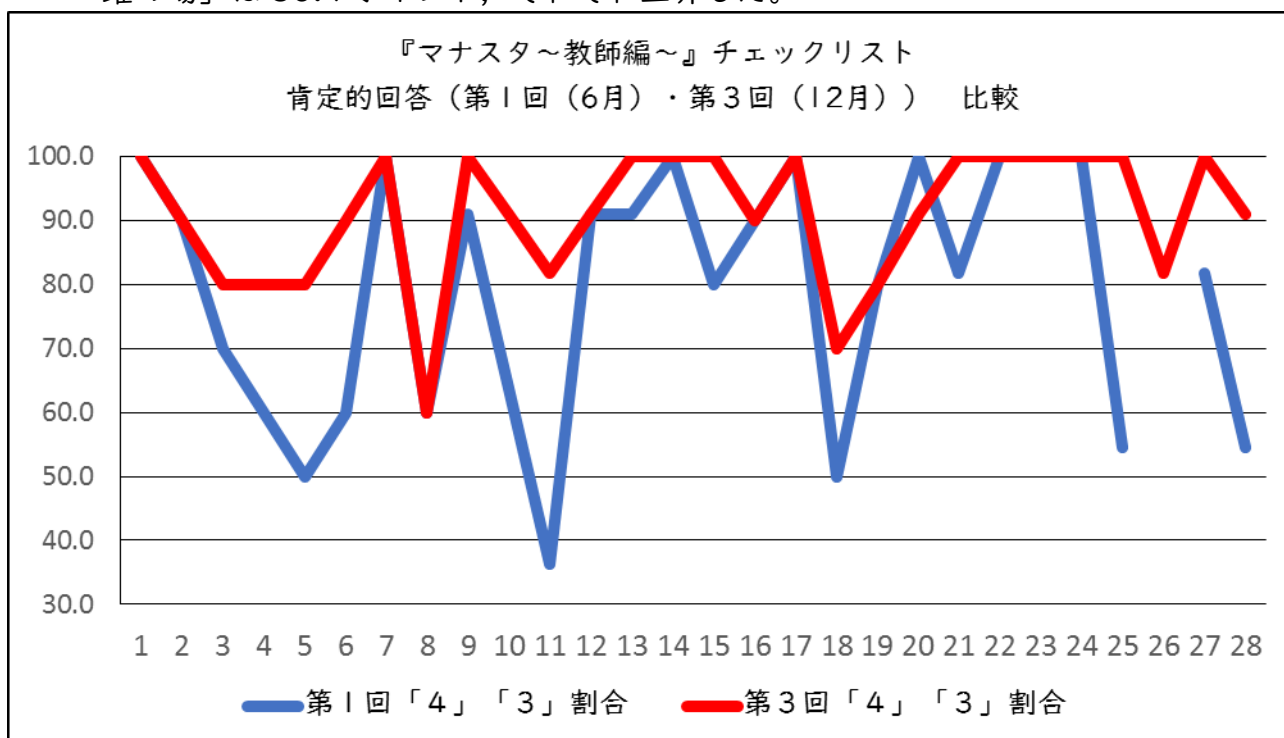
- ① No.11, NO.16, No.20 で、第2回よりも0.3ポイント以上上昇し、かつ3.00ポイントを上回った。
- ② No.18, No.19は、第2回に引き続き3.00ポイントを下回った。
- ③ No.11, No.20で、第2回よりも「2」の数が大幅に減少した。
- ④ No.16, 18は、第2回で「4」の数が0だったが、第3回では「4」の数が増加した。
- ④ No.17の「4」の数が増加し、6割となった

(3) 人間関係づくり

- ① No.24~No.28で、第2回よりも0.3ポイント上昇した。No.24, No.25, No.28は3.00ポイントを上回った。
- ② No.21~28のすべての項目で、第2回よりも「4」の数が増加した。
- ③ No.25, No.26で、「1」の数が0となった。

(4) 第1回(6月)と第3回(12月)における、肯定的な回答をした教師の割合

- ① 各項目について、「4 あてはまる」「3 ややあてはまる」と肯定的な回答をした教師の割合の平均は、第1回79.1%、第3回91.0%となり、11.9ポイント上昇した。また、「4 あてはまる」と回答をした教師の割合の平均は、第1回21.3%、第3回38.4%となり、17.1ポイント上昇した。
- ② 30ポイント以上上昇した項目は、5項目。No.5「振り返り」は30.0ポイント、No.6「チョークの色使い」は30.0ポイント、No.11「複数指示の配慮」45.5ポイント、No.25「発表の賞賛」は45.5ポイント、No.28「一人一人の活躍の場」は36.4ポイント、それぞれ上昇した。



(5) 今後の重点事項

- ① 授業づくりでは、No.3「流れと時間配分」、No.5「振り返り」、No.8「座席の配置等」。
- ② 環境づくりでは、No.11「複数指示の配慮」、No.18「予定の掲示」、No.19「予定変更の示し方」。
- ③ 人間関係づくりでは、No.26「学習形態の工夫」。

3 生徒編と教師編から

(1) 授業づくり

生徒編のNo.4「振り返り」、No.6「ノート、ファイル・プリントの整理」、No.9「わからないことを尋ねる」及び、教師編のNo.3「流れと時間配分」、No.5「振り返り」、No.8「座席の配置等」のポイント上昇を意識し、重点的に取り組みましょう。

特に、授業のまとめ時に振り返りが可能な目標を設定し、生徒が授業の中で理解できたことやできるようになったことを確認できるようにしていきましょう。その際、生徒の目指す姿や授業の終わりにどのような状態になっているとよいか分かる目標（Goal）となっているかや、目標と流れ（To do）が混同していないか、注意しましょう。

また、生徒のノート（板書）のとり方やファイル・プリントの整理の仕方について定期的に確認するとともに、生徒が今何をすべきかわからないことを尋ねられるような授業づくりも進めていきましょう。

(2) 環境づくり

引き続き、教師編のNo.11「複数指示の配慮」、No.18「予定の掲示」、No.19「予定変更の示し方」のポイント上昇を目指して、工夫や改善を行いながら取り組みましょう。

1月に教室で使用できるセクションボードと生徒昇降口用のホワイトボードを準備したので、予定の掲示や学校行事等の予定変更等にも活用していきましょう。

(3) 人間関係づくり

生徒編のNo.15「積極的な発表」に加え、No.18「発表後の拍手」及び、教師編のNo.26「学習形態の工夫」のポイント上昇を目指して、工夫や改善を行いながら取り組みましょう。

常に感染防止対策を行い、県内のリスクレベルを考慮しながら、ペア学習やグループ学習を取り入れていきましょう。効果的だった取組については、日頃から学年や教科をこえて適宜情報交換していきましょう。